

第 11 章 : Microsoft Intune によるアプリケーションおよびリソースへのアクセス

演習 A : Microsoft Intune によるアプリケーションの展開

練習 1 : Intune での展開用アプリケーションの発行

▶ 作業 1 : Intune ソフトウェア パブリッシャーを使用して .msi インストーラーを発行する

1. LON-DC1 で、ユーザー名「Adatum¥Administrator」、パスワード「Pa\$\$w0rd」を使用してサインインします。Internet Explorer を開きます。
2. <http://manage.microsoft.com> を参照します。
3. Intune 管理コンソールにアクセスするための資格情報を入力します。
4. Intune 管理コンソールで、[グループ] をクリックします。
5. グループ ウィンドウで、[すべてのデバイス] をクリックします。
6. 詳細ウィンドウで、[LON-CL1.Adatum.com] を右クリックし、[ユーザーの関連付け] をクリックします。
7. [ユーザーの関連付け] ダイアログ ボックスで、[Don Funk] を選択し、[OK] をクリックします。
8. Intune 管理コンソールで、[アプリ] をクリックします。
9. アプリ ウィンドウで、[アプリ] ノードをクリックします。
10. 詳細ウィンドウで、[アプリの追加] をクリックします。[アプリケーションの実行 - セキュリティの警告] ボックスで、[実行] をクリックします。
11. [開いているファイル - セキュリティ警告] ボックスで、[このファイルであれば常に確認する] チェック ボックスをオフにし、[実行] をクリックします。ソフトウェアの追加 - Microsoft Intune ソフトウェア パブリッシャーが起動します。
12. [開始する前に] ページで、[次へ] をクリックします。
13. [ソフトウェア セットアップ] ページで、次の値を選択し、[次へ] をクリックします。
 - このソフトウェアをデバイスに配布する方法 : ソフトウェアのインストーラー
 - ソフトウェアのインストーラー ファイルの種類 : Windows インストーラー
 - ソフトウェア セットアップ ファイルの場所の指定 : E:¥Labfiles¥Mod11¥XMLNotepad.msi
14. [ソフトウェアの説明] ページで、次の値を入力し、[次へ] をクリックします。
 - 発行元 : Microsoft
 - カテゴリ : 生産性
15. [要件] ページで、次の値を入力し、[次へ] をクリックします。
 - アーキテクチャ : 64 ビット
 - オペレーティング システム : [Windows 8.1] から [すべての新しいオペレーティング システム]
16. [コマンドライン引数] ページで、[次へ] をクリックします。
17. [概要] ページで、[アップロード] をクリックします。XML Notepad を圧縮し、Intune にアップロードします。

18. [閉じる] をクリックします。
19. 結果ウィンドウを更新し、XML Notepad が表示されることを確認します。

▶ 作業 2 : アプリストアへの外部リンクを発行する

1. LON-DC1 の Intune 管理コンソールで、[アプリ] をクリックします。
2. アプリ ウィンドウで、[アプリ] ノードをクリックします。
3. 詳細ウィンドウで、[アプリの追加] をクリックします。
4. [開始する前に] ページで、[次へ] をクリックします。
5. [ソフトウェア セットアップ] ページで、次の値を選択し、[次へ] をクリックします。
 - このソフトウェアをデバイスに配布する方法 : 外部リンク
 - URL を指定 : <https://www.microsoft.com/store/apps/9WZDNCRFJB9S>
6. [ソフトウェアの説明] ページで、次の値を入力し、[次へ] をクリックします。
 - 発行元 : Microsoft
 - 名前 : Word Mobile
 - 説明 : Text Authoring Tool
 - カテゴリ : 生産性
 - このアプリをポータル サイトでおすすめアプリとして強調表示します : オン
7. [概要] ページで、[アップロード] をクリックします。
8. [閉じる] をクリックします。
9. 結果ウィンドウを更新し、Microsoft Word Mobile が表示されることを確認します。

結果 : この練習により、Intune でアプリを発行することができました。

練習 2 : アプリケーションの展開および展開の監視

▶ 作業 1 : XML Notepad を Research 部門に展開する

1. LON-DC1 の Intune 管理コンソールで、[アプリ] をクリックします。
2. アプリ ウィンドウで、[アプリ] ノードをクリックします。
3. 詳細ウィンドウで、[XML Notepad 2007] アプリを選択し、[展開の管理] をクリックします。
4. [グループの選択] ページで、[Research Computers]、[追加]、[次へ] の順にクリックします。
5. [展開アクション] ページで、次の値を構成し、[完了] をクリックします。
 - 展開 : 必須のインストール
 - 期限 : 直ちに

▶ 作業 2 : Word Mobile を Intune ポータルサイトに展開する

1. LON-DC1 の Intune 管理コンソールで、[アプリ] をクリックします。
2. アプリ ウィンドウで、[アプリ] ノードをクリックします。
3. 詳細ウィンドウで、[Word Mobile] アプリを選択し、[展開の管理] をクリックします。

4. [グループの選択] ページで、[すべてのユーザー]、[追加]、[次へ] の順にクリックします。
5. [展開アクション] ページで、次の値を構成し、[完了] をクリックします。
 - 承認 : 利用可能なインストール

▶ 作業 3 : インストールを監視する

1. Intune 管理コンソールで、[グループ] をクリックします。
2. グループ ウィンドウで、[すべてのデバイス] をクリックし、[LON-CL1.Adatum.com] を右クリックします。
3. [ポリシーの更新] をクリックします。
4. ダイアログ ボックスで、[閉じる] をクリックします。
5. コンソールの右下隅で、[リモート タスク] をクリックします。
6. リモート タスクの状態ウィンドウで、ポリシーの更新タスクの状態を確認し、[閉じる] をクリックします。
7. [アプリ] をクリックし、アプリ ウィンドウで、[アプリ] ノードをクリックします。
8. [Word Mobile] アプリをクリックします。プレビュー ウィンドウで、詳細を確認します。現在の状態では、このソフトウェアを使用できるユーザーの数が示されています。
9. [プロパティの表示] をクリックし、Word Mobile ウィンドウで、[ユーザー] タブをクリックします。アプリへのリンクを受信するユーザーを識別できることを確認します。
10. LON-CL1 に切り替えます。
11. [スタート]、[すべてのアプリ] の順にクリックします。
12. [Microsoft Intune Center] をクリックします。必要に応じて、ユーザー名「DonFunk@<ドメイン名>.onmicrosoft.com」、パスワード「Pa\$\$w0rd」を使用して Intune ポータルサイトを開きます。
13. Intune Center の [更新プログラム] で、[更新プログラムの確認] をクリックします。しばらくしてから、[更新プログラムのインストール] をクリックします。ポリシーも更新されます。デスクトップに XML Notepad 2007 が表示されます。
14. 開いているウィンドウをすべて閉じます。

結果 : この練習により、Intune を使用して、アプリケーションを展開して監視することができました。

▶ 次の演習の準備をする

次の演習のために、仮想マシンを起動したままにします。

演習 B : Intune によるリソースへのアクセスの管理

練習 1 : Intune での証明書の展開の構成

▶ 作業 1 : 信頼済み証明書プロファイルを構成して展開する

1. LON-DC1 に切り替え、Internet Explorer を開きます。
2. <http://manage.microsoft.com> を参照します。
3. Intune 管理コンソールにアクセスするための資格情報を入力します。
4. Intune 管理コンソールで、[ポリシー] をクリックします。
5. ポリシー ウィンドウで、[構成ポリシー] ノードをクリックします。
6. 詳細ウィンドウで、[追加] をクリックします。
7. [新しいポリシーの作成] ページで、[Windows] を展開し、[信頼済み証明書プロファイル (Windows 8.1 以降)]、[ポリシーを作成する] の順にクリックします。
8. [ポリシーの作成] ページで、次の値を構成し、[ポリシーの保存] をクリックします。
 - 名前 : Windows RootCert Policy
 - 説明 : Certificate for the Adatum Root CA
 - 証明書ファイル : RootCert.cer (E:\Labfiles\Mod11\RootCert.cer)
9. [展開ポリシー] ダイアログ ボックスで、[はい] をクリックします。
10. [展開の管理] ダイアログ ボックスで、[すべてのコンピューター]、[追加]、[OK] の順にクリックします。

▶ 作業 2 : Simple Certificate Enrollment Protocol (SCEP) 証明書プロファイルを構成して展開する

1. Intune 管理コンソールで、[ポリシー] をクリックします。
2. ポリシー ウィンドウで、[構成ポリシー] ノードをクリックします。
3. 詳細ウィンドウで、[追加] をクリックします。
4. [新しいポリシーの作成] ページで、[Windows] を展開し、[SCEP 証明書プロファイル (Windows 8.1 以降)]、[ポリシーを作成する] の順にクリックします。
5. [ポリシーの作成] ページで、次の値を構成し、[ポリシーの保存] をクリックします。
 - 名前 : Windows SCEP Policy
 - 説明 : SCEP policy for Windows computers
 - SCEP サーバー URL : <http://lon-dc1/certsrv/mscep>
 - サブジェクトの別名 : ユーザー プリンシパル名 (UPN)
 - 証明書の有効期間 : 2 年
 - キー使用法
 - キーの暗号化
 - デジタル署名
 - ハッシュ アルゴリズム : SHA-1

- 拡張キー使用法 : 任意の目的
 - ルート証明書の選択 : Windows RootCert Policy
6. [展開ポリシー] ダイアログ ボックスで、[はい] をクリックします。
 7. [展開の管理] ダイアログ ボックスで、[すべてのコンピューター]、[追加]、[OK] の順にクリックします。

▶ 作業 3 : 仮想プライベート ネットワーク (VPN) プロファイルを構成して展開する

1. Intune 管理コンソールで、[ポリシー] をクリックします。
2. ポリシー ウィンドウで、[構成ポリシー] ノードをクリックします。
3. 詳細ウィンドウで、[追加] をクリックします。
4. [新しいポリシーの作成] ページで、[Windows] を展開し、[VPN プロファイル (Windows 10 Desktop および Mobile 以降)]、[ポリシーを作成する] の順にクリックします。
5. [ポリシーの作成] ページで、次の値を構成し、[ポリシーの保存] をクリックします。
 - 名前 : Windows VPN Policy
 - 説明 : VPN policy for Windows computers
 - VPN 接続名 : Adatum VPN
 - 接続の種類 : CheckPoint Capsule VPN
 - VPN サーバーの説明 : Adatum VPN
 - サーバーの IP アドレスまたは FQDN : Checkpoint.adatum.com
6. [展開ポリシー] ダイアログ ボックスで、[はい] をクリックします。
7. [展開の管理] ダイアログ ボックスで、[すべてのコンピューター]、[追加]、[OK] の順にクリックします。

結果 : この練習により、Intune で証明書の展開を構成することができました。

練習 2 : 条件付きアクセス ポリシーの構成

▶ 作業 1 : Microsoft Exchange コネクタを構成する

1. LON-DC1 の Intune 管理コンソールで、[管理者] をクリックします。
2. 管理ウィンドウで、[Microsoft Exchange] ノードを展開し、[Exchange 接続のセットアップ] をクリックします。
3. 詳細ウィンドウで、[Service To Service Connector のセットアップ] をクリックします。
4. サインインしているアカウントを使用するには、ダイアログ ボックスで、[OK] をクリックします。
5. [Microsoft Exchange モバイル デバイス管理] ページで、[クイック同期の実行] をクリックします。
6. ダイアログ ボックスを確認し、[閉じる] をクリックします。


▶ 作業 2 : コンプライアンス ポリシーを構成する

1. Intune 管理コンソールで、[ポリシー] をクリックします。
2. ポリシー ウィンドウで、[コンプライアンス ポリシー] ノードをクリックします。
3. 詳細ウィンドウで、[追加] をクリックします。

4. [ポリシーの作成] ページで、次の値を構成し、[ポリシーの保存] をクリックします。
 - 名前 : Exchange Compliance Policy
 - モバイル デバイスのロック解除にパスワードを必要とする : はい
 - 必要なパスワードの種類 : 有効化し、[数値] を選択
 - 他の値は既定値のまま
5. [展開ポリシー] ダイアログ ボックスで、[はい] をクリックします。
6. [展開の管理] ダイアログ ボックスで、[すべてのユーザー]、[追加]、[OK] の順にクリックします。

▶ 作業 3 : Microsoft Exchange Online ポリシーを構成する

1. Intune 管理コンソールで、[ポリシー] をクリックします。
2. ポリシー ウィンドウで、[条件付きアクセス] を展開し、[Exchange Online ポリシー] ノードをクリックします。
3. 詳細ウィンドウで、[条件付きアクセス ポリシーを有効にする] チェック ボックスをオンにします。
4. [デバイス プラットフォーム] で、[特定のプラットフォーム] を選択し、次のチェック ボックスをオンにします。
 - iOS
 - Android
 - Windows 10 Mobile
5. [Windows デバイスは次の要件を満たしている必要があります] チェック ボックスをオンにし、[デバイスは準拠デバイスである必要があります] を選択します。
6. [モバイル デバイスは準拠デバイスである必要があります] チェック ボックスをオンにし、[Microsoft Intune でサポートされていないデバイスから電子メールへのアクセスをブロックする] を選択します。
7. [対象グループ] セクションで、[変更] をクリックします。[セキュリティ グループの選択] ダイアログ ボックスで、[Helpdesk Administrator] を選択し、[追加]、[OK] の順にクリックします。

 **注 :** この演習では、運用環境で、既定の Helpdesk Administrator グループのみを選択します。1 つ以上の Active Directory セキュリティ グループを選択することになります。

8. [保存] をクリックします。

結果 : この練習により、Intune を使用して、条件付きアクセス ポリシーを構成することができました。

▶ 次の章の準備をする

演習が完了したら、仮想マシンを初期状態に戻します。

1. ホスト コンピューターで、Hyper-V マネージャーを起動します。
2. [仮想マシン] リストで、[23697-2B-LON-DC1] を右クリックし、[戻す] をクリックします。
3. [仮想マシンを戻す] ダイアログ ボックスで、[戻す] をクリックします。
4. 起動中のすべての仮想マシンに対して、手順 2 ~ 3 を繰り返します。

